

第6回自治KEN ひとことアンケートまとめ

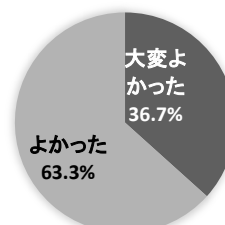
平成29年1月17日

アンケート集計結果

受講者数	38
アンケート回答数	31
回答率	82%

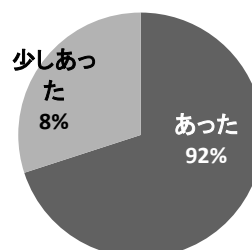
Q1.今日はどうでしたか？

大変よかった	11
よかった	19
よくなかった	0
合計	30



Q2.自分によって、プラスになるものがありましたか？

あった	21
少しあった	9
なかった	0
合計	30



Q3.今日特に「気づいたこと」や「発見したこと」があれば、お書きください。

《難しかった！時間が足りなかった！》

- ・今日のワークのテーマは1回では少ない。
- ・今日の内容は、大変難しく、これが正解とは言いにくいものばかりでした。
- ・市の施策として示しているものを位置付けるか否かをこのメンバーだけで議論することは難しい。
- ・重要な内容だと思うので、議論の時間が少なすぎた。判断するには、自分の情報不足が多かった。
- ・内容が濃すぎて頭がついていけない部分もありましたが、たくさんの方が知れて良かった。
- ・検討する内容が難しかったと思う。事前に資料等が必要だと思う。
- ・意識の高い人ばかりなので、今回の内容では議論する時間が足りない。意見が言い足りない人がたくさんいたような気がする。

《条例の具体的な内容について》

- まちづくり協議会は、市民の声を構造的に（仕組みとして）行政に反映させることであり、明示すべきだと思います。主体的市民の受け皿として主体的な協議会をつくるのが市民に求められているということでもある。
- まちづくり協議会の規定については、市としての施策でまさに長久手NOWであると思うので、規定すべきであると思う。
- 条例に規定することは、大変重要であり、この条例を基本にどう活用していくかが大事である。（まちづくり協議会）
- 「住民投票」について、これまでテレビ、新聞でしか目にしていなかったもので、たいへん勉強になりました。
- 住民投票の規定については賛否両論

《その他》

- 今回は自主的な自分の意思で選ぶ班決めでした。私も班はとくに、今、自分の抱えている問題に関わる人が多く、意見をまとめることは難しかったのですが、それだけ真剣に考えているということだと思いました。

いつの間にか、市役所がつくる条例になっている？

- 人間はそれぞれ様々な色々の解釈が参加者にあるが、大局的客観的な判断をすることが重要だ
- いろいろな方、いろいろな考え方、多様でよかった。

自治条例が誰に向けたものかを考えさせられた。住民か市長か、議会か、行政か。

テーマが6項目あり、そのうちの1つについてメンバーと話し合ったが、5班は前提条件が異なり、集約することができなかった。

- 個々の地域への思い、将来への事への思いが強くあり、お話を聞いてよかったと思います。
- 皆さん、一生懸命考えられ、すばらしいと感じた。
- 他の市町村とは差別化された精神、長久手らしさをどう工夫、創りだせるかがポイント
- 自治基本条例に対する参加者のみなさんの思いを知る事ができた。
- 論点として結論づけるだけでなく、各人が重要と思うキーワードをもっと出してもらって、話し合う時間があれば良かったと思う。
- 知識、意欲のある市民の方々の意見に長久手の将来の力強さを感じました。

Q4.その他

- 骨子についての市民ヒアリング、第1回は自治KENにて開催を！
- 何でも行政に任せることを卒業し、住民自治のしくみと制度をつくるのが目的であるのですから・・・
- 茶の木畑にはいったような気がする
- まち協をどのように規定するかは必要。前提としてまち協の意義を規定する
- まちづくり協議会とは？私も理解していない。地域で温度差がある。各自治会（小学校区単位）地域と考え方が違うため、もっと多数の意見をまとめてから考える。
- 今回のような重要な部分はもっと時間をとるべき
- 自治KENは7回では足りないと思いました。
- 条文はなるべくコンパクトで少ない条文であってほしい
- まち協と連合会の内容の議論は他の会議等で行うべき
- もう少し時間があるとよりよいと感じました。